

港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金 申込団体向け実施

新型コロナウイルス感染症による 地域活動への影響を  
把握するためのアンケート集計結果

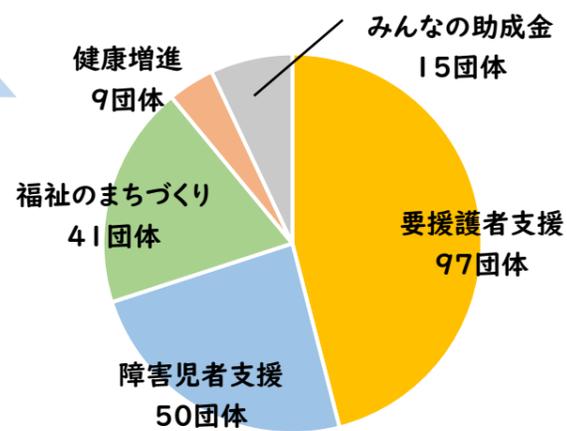
目的

新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域活動の休止、縮小、延期などの影響が出ました。今回、港北区内で助成金の配分を受け活動している団体における実態を把握し、今後の活動支援に役立てるとともに、これからも続く「新たな生活様式」の中での活動をどう進めていくか、皆さんでアイデアを共有できればと考え、アンケート調査を実施しました。

調査対象・方法・回収状況

令和2年度の助成金申込団体数 231 件に対し、郵送で協力依頼。  
回答数 212 団体（回収率 91.7%）。

回答団体  
内訳

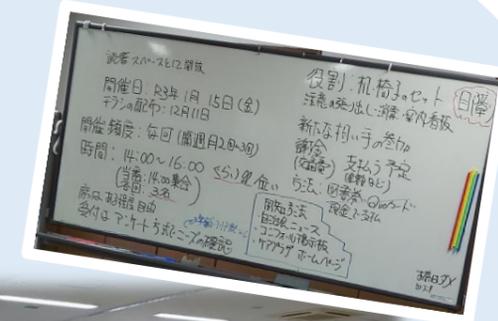


調査期間

令和2年7月5日～31日

コロナ禍でのさまざまな工夫

▼はがきで近況報告



▲3密に注意しながら話し合い

港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金について

より豊かな市民社会の実現のために、市民の自発性のもと、横浜市内で行われる非営利な地域福祉推進事業や障害福祉推進事業の支援を目的として実施する助成金です。

●令和元年度実績

助成規模：21,753,000 円 助成団体：246 団体

●本助成金は、① 横浜市社協 基金〔よこはまあいあい基金, 障害者年記念基金〕

② 横浜市社協 善意銀行

③ 横浜市港北区社協 善意銀行〔港北区〕

④ 赤い羽根共同募金〔港北区〕

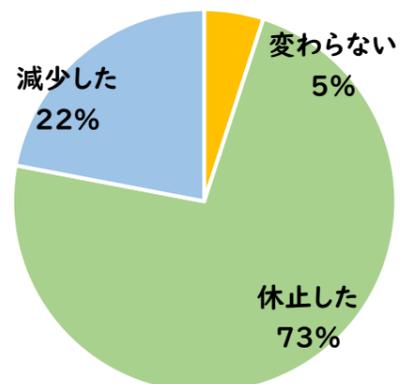
⑤ 年末たすけあい募金〔港北区〕

を財源としております。

## 問1 団体の活動について

問1(1) 感染症の影響により、4～6月のあなたの団体の活動頻度はどうなりましたか。

- 休止した
- 減少した
- 増加した
- 変わらない



- ・「休止した」「減少した」が全体の95%を占めています。
- ・「変わらない」と回答された団体の中には、次のような内容がありました。
  - ①独自の活動場所がある
  - ②掃除、洗濯、買い物など生活に欠かせない活動
  - ③精神障がいのある方へのサポート活動

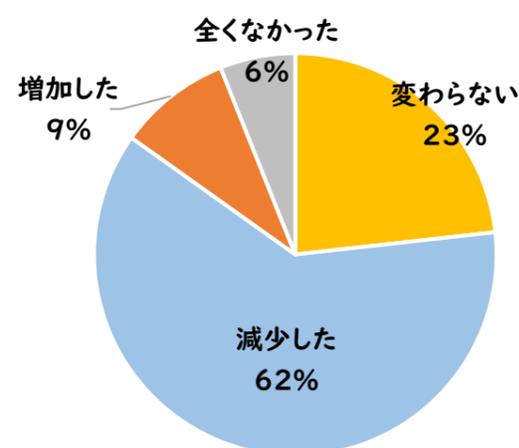
緊急事態宣言で公共施設が使用不可となる中、独自の活動場所があることで「今だからこそ」サポートが必要な方への居場所を提供できたのかな



※休止した、減少したと回答された団体

問1(2) 活動を休止、減少した状況で団体内部のメンバーとのやりとりはどうなりましたか。

- 全くなかった
- 減少した
- 増加した
- 変わらない



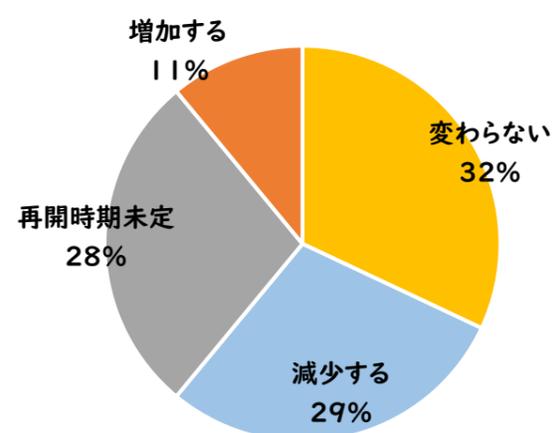
- ・団体の活動頻度が減少したことによりメンバーとのやりとりも大きく（約6割）減少しています。
- ・問1(4)で具体的な課題を質問していますが、多い意見1位、2位が「先の見通しが立たず、活動が停滞」、「メンバーと話し合う機会が減り、活動が停滞」となっており、悪循環が重なっていた状況がわかります。
- ・「増加した」と回答した団体の半数が子育て支援に関わる活動です。



子育て支援に関わる団体は、日ごろからメールやグループラインなどのツールを活用している団体が多かったので、会えないからこそツールを使っただけの相談がメンバー間で気軽にできたのかも

問1(3) 7月以降のあなたの団体の活動頻度はどうなりますか。

- 再開時期未定
- 減少する
- 増加する
- 変わらない

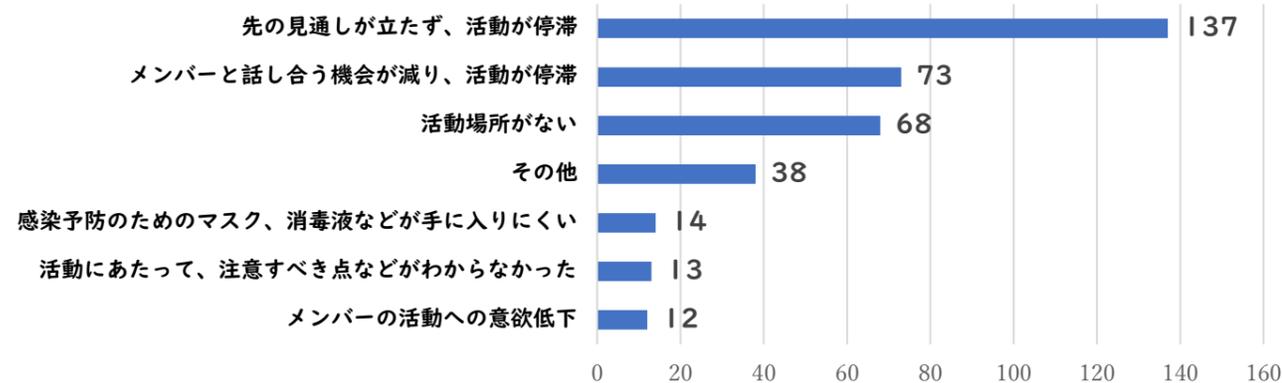


- ・「減少する」「再開時期未定」が約6割を占めています。
- ・7月末までの状況で回答いただきましたが、その後、多くの方を集めて開催を予定していた活動のうち、今年度は開催しないと決断された団体もあります。

**問1(4)** 感染症の影響により、あなたの団体の活動にどのような課題が出ましたか。

※特に課題に感じた項目2項目までチェック（資金面以外）

- メンバーと話し合う機会が減り、活動が停滞
- 先の見通しが立たず、活動が停滞
- メンバーの活動への意欲低下
- 活動場所がない
- 感染予防のためのマスク、消毒液などが手に入りにくい
- 活動にあたって、注意すべき点などがわからなかった
- その他（自由記載：\_\_\_\_\_）



先の見通しが立たない中で…

ふだん参加していた方から、再開を希望する電話やメールが届いた！

活動再開の目安がわからず困惑したが、メンバーで話し合っ決めていく！

感染予防のための注意点がわからない時期は活動ができなかったが、後半は注意しながら再開していきたい！



**新たな取組み**

- 感染予防対策をしっかりと！
- プログラムを工夫し3密を避ける！
- 参加への意向確認！
- つながりが切れないように情報発信！
- メンバー内で話し合い（感染予防対策や今後の活動の形、近況報告など）、心が密であることを心がけた！

「あの人」の孤独、健康維持、見守り助け合い、心身機能の低下…心配！

気になる「あの人」をほっとけない！

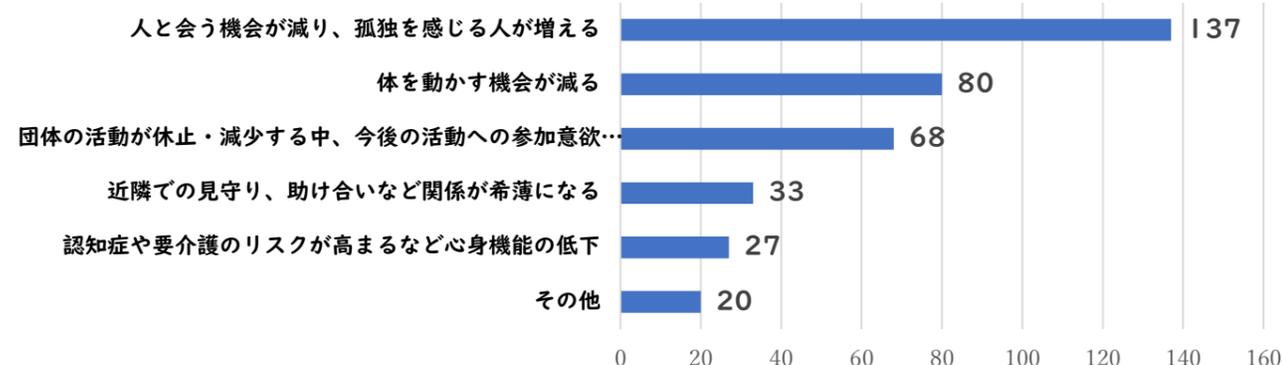


**問2 利用者・参加者・地域に起こる課題について**

**問2** 感染症の影響により、利用者・参加者・地域に起こる課題をどう考えますか。

※特に課題に感じた項目2項目までチェック（資金面以外）

- 人と会う機会が減り、孤独を感じる人が増える
- 体を動かす機会が減る
- 認知症や要介護のリスクが高まるなど心身機能の低下
- 団体の活動が休止・減少中、今後の活動への参加意欲も低下
- 近隣での見守り、助け合いなど関係が希薄になる
- その他（自由記載：\_\_\_\_\_）

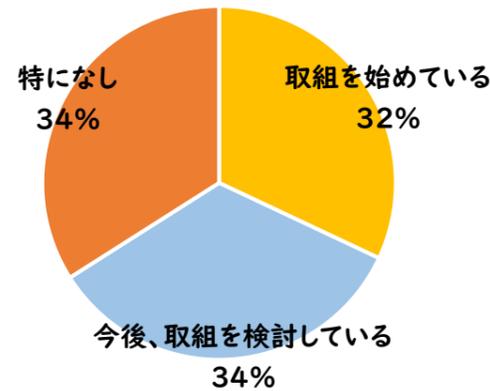


### 問3 新たな取組みについて

問3(1) 感染症の影響により、新たな取組を始めたり、検討をしたりしていますか。

- 取組を始めている
- 今後、取組を検討している
- 特になし

コロナ下の困りごとに対応する、取組みが始まっています



※取組を始めている、今後検討していると回答された団体

問3(2) 新たな取組について、具体的にご紹介ください。

## 子育て・親子

活動時間を二部制にしたり外での活動を増やしたり。 **密を避ける**

人の間隔を2m、手遊びは歌わずCDの音楽を使う。1時間ほどのプログラムを30~45分程度に短縮。 **プログラム工夫**

毛筆、硬筆のお手本を書いている動画をユーチューブにアップし、家でも練習できるようにした。 **プログラム工夫**

密を避けるために親子の立ち位置を決めるわっかを購入し、使い捨てできる新聞紙などでの遊びを検討。 **密を避ける**

ユーチューブで読み聞かせ動画を配信。 **つながる**

集まることができないためラインやメールで近況報告をしたり、散歩中に見つけた花の写真などを送りあって、コミュニケーションを図った。 **つながる**

3密やソーシャルディスタンス、消毒やプログラムを講師と相談。活動再開できない場所に所属する会員には、再開できた場所へお誘い。 **ヨコのつながり**

連絡先を交換できる参加者と交換し臨時の開催などを伝える。 **つながる**

町でお会いした方にお声がけをした。 **つながる**

## イベント

感染症対策の広報を立て看板に貼って再開。イベントは予約制。 **工夫**

参加者を2班に分けて、月2回の開催を通常通り行いました。参加者には頻りに状況を連絡しました。 **密を避ける** **電話**

サロンで使う資料(勉強・体操・フレイル予防パンフレットなど)を届けています。 **つながる**

利用者が孤独にならないように、電話での声掛けや誕生日を迎えた方にお花とケーキを届けました。 **つながる**

## 心は密！ であること

## 集いの場

ボランティアへの活動参加確認。 **ヨコのつながり**

オンラインでお茶会を開催。 **つながる**

室内での活動を屋外にした。絵本の会も野外を利用し子育てに関する悩みなどを出せる場にしたい。 **工夫** **電話**

多人数が集まるイベントは回数を増やし密を避け、高齢者宅への訪問は電話で様子を伺う **密を避ける** **電話**

誰かと話したい、外出を楽しみたいという希望を伺い、少人数で屋外散策などを企画した。 **つながる**

毎月一回、手分けして会員全員に電話をし様子をうかがっています。 **つながる**

準備期間中に、他のサークルの方にいろいろとお話をうかがいました。 **ヨコのつながり**

参加者に対してスマホなどの新しい手段の習得を目的としたサロンの展開を計画中。 **つながる**

認知力の落ちている高齢の方には電話だけでは開催の可否がうまく伝わらないことがあり、郵送で連絡をとっている。 **つながる**

電話で様子を伺ったり、時間を短縮して開催。また、ケアプラザの方に熱中症やコロナ感染予防のお話をいただきました。 **工夫**

## 生活支援

活動場所を再検討し利用者の連絡網を再構築した。 **つながる**

## 健康増進

マットは一人ずつ椅子の間隔は広げ大きな声を出さず内容は軽めに。 **密を避ける**

※7月末時点での取り組みに関する紹介です。

## 今後の活動に向けて準備しています！

### 〈施設ボランティア〉

活動は施設からの連絡待ち。再開まではボランティアが訪問しなくても楽しんでもらえるよう、リモートで「うたごえサロン」を開催できるようプログラムを作っています。

### 〈歌唱ボランティア〉

仲間とは電話や手紙で連絡を取り合っています。全員、心は密でいることが大切なので、いつでも開始できるように各人で体力づくりに努力しています。

### 〈料理教室〉

今後の会食会に向けてレシピづくりを先行して取り組んでいます。

### 〈地域食堂〉

感染状況を考えながら、テイクアウトや人数制限などの方法を検討しています。

### 〈配食活動〉

今までのやり方を見直しています。弁当箱を使い捨てのものにしたり、代金の扱い方や担い手を交代制にしたり。献立も長時間かけずにできる工夫を考えています。

一方で  
こんな  
心配も...

### 〈イベント〉

オンラインで開催してみたけれど、Wi-Fi環境が整っていない方もいて。もしかしたら、オンラインへのつながりかたがわからない人もいるのかも...

### 〈サロン〉

高齢の方には電話だけでは開催の可否がうまく伝わらない。また電話では相手の健康状態がよくわからない...

### 〈子育て支援〉

オンラインで実施したいけれど、スタッフが不慣れ。本当に楽しんでもらえるかも不安で...

大丈夫！一緒に  
考えていきましょう

## これって助成金が使えるの？！

いただいたアンケートの中に、助成金が活用できそうな悩みが見つかりました。例として挙げておきますので、ぜひ助成金をご活用ください。

「申請された事業の目的」に沿った活動であれば、工夫してカタチを変えても助成金は活用できます。「こんな工夫をしてみたいのだけど、助成金が使えるかな？」と悩まれた場合は区社協までご相談ください。



参加者や活動メンバーとのやりとりで電話の回数が増えた！

参加者や活動メンバーとのやり取りにかかる電話代は、例えば「1回△円」や「年間△円」など、団体で話し合っただけでルールを決め、皆さんで共有していれば助成金を活用できます。



消毒液やマスク、体温計など感染予防・対策グッズが必要！

新型コロナウイルス感染症の予防対策として必要なものは、物品購入費で支出できます。



2部制にしたため会場使用料が2倍かかるようになった！  
予定になかったけれど、助成金を使える？

もちろんです！



オンラインで定例会やイベントの開催を試みています！

個人使用を目的としないタブレット端末（物品購入費）やオンライン開催にかかる通信費などにも活用できます。

